**防災地学特論　１０. 台風による災害 課題**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学籍番号 | 7522540 | 氏名 | 土山雄飛 |

以下の１ページ目（課題１）から３ページ目（課題３）にある課題について解答せよ。

課題１　台風は、発達に伴い風が強くなるが、これは空気の運動エネルギーが大きくなっていくということである。この時のエネルギー源について説明せよ。

―――――以下課題１解答欄―――――

課題２　台風情報の台風経路図において、台風の予報円は、1日先、2日先となるにつれて、だんだん大きくなっていく。これは何を意味しているのかを説明せよ。

―――――以下課題２解答欄―――――

課題３　第7回から第10回までの気象災害（雷、竜巻、大雨、台風）に関する授業についての感想や意見など、なんでも自由に書いてください。

―――――以下課題３解答欄―――――

積乱雲によってもたらされる被害や現象については知っていたが，積乱雲の内部の状態や生成される過程，原理などについて詳しく考えたことがなかったので非常に興味深かった．非常に流速の早い積乱雲や突風などの流体の乱流運動は予測しにくいかと思っていたが，巨視的な動きや実際の現象からある程度の規模や挙動が予測できることは素晴らしいと感じた．

日本では大雨や台風の被害は多いため，日頃からハザードマップを確認するなど，自分の生活にも本講義で学んだ内容を活かすことができるよう努力したい．